

近藤通信



公明党千葉市議会
議員団 議会報告
No.56
2014年 春号

平成26年度第1回定例会報告

会派の代表質疑で、市長・副市長の答弁が行われました。

以下、近藤ちず子議員が担当した項目・内容について報告します。

質問項目

市長・副市長答弁

◎子ども医療費助成について

子ども医療費助成の対象拡大については、市民の強い要望を受け、我が会派としても強く求めてきたところである。

新年度予算で助成対象年齢を中学3年生まで拡大したことは評価するものの、小学校4年生からの通院1回500円の負担は県内で一番高い保護者負担となっている。

500円とした設定根拠を含めた市長の見解について問う。

併せて、今後の保護者負担の軽減の見直しについて伺う。

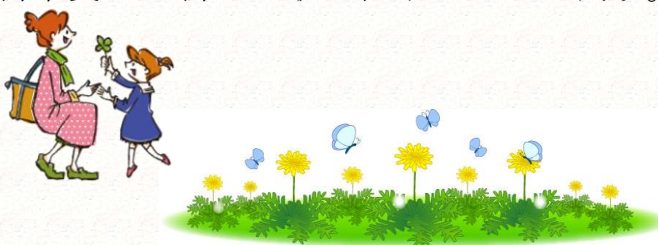


◎千葉市モノレールについて

今年度開業25周年を迎えた千葉市都市モノレールは、本市にとって重要な公共交通機関であり、更なる利便性向上の取り組みが求められている。

平成18年度のモノレール全社再建以降、7年連続の単年度黒字が報告される一方、モノレール施設の設備更新費用が今後20年間で425億円と想定されており、早急に将来の収支計画が必要と考えるが取り組みについて問う。

また、公募で選任した社長のこれまでの取り組みの評価と後任人事の考え方、新年度での新たな取り組みについて伺う。



・実際に施策を決定するにあたり、真に子育て世帯が望んでいることを伺うためのアンケートを実施し、その結果や近隣市の状況を確認し、極めて厳しい財政状況ではありますが、中学3年生までの拡大は必要と考え決断しました。

・小学校4年生から中学校3年生までの医療機関への年間平均受診回数は乳幼児と比較して半減しており、500円、「ワンコイン」で受診いただけるよう設定しました。

・現状では小学校4年生以上の通院医療費は県事業の対象外となっており、今後は、県事業の動向を注視しつつ、保護者負担額の設定について検討して参ります。

・モノレール全社では、今後20年間で、車両、運行管理システム及び保安装置、直接運行に係る施設の更新が必要であり、多額の資金が必要となります。一方、運賃収入は、少子高齢化の進展に伴い減少していくことが想定され、これらを踏まえた上で早期に収支計画を策定したいと考えております。

・平成22年6月に就任した社長は「つながる・めぐる・つどう」という3つの戦略的視点で取り組み、「市民に愛される公共交通機関」に近づいたと評価しています。後任人事については合理的かつ効率的な経営を行える人材が必要と考えています。

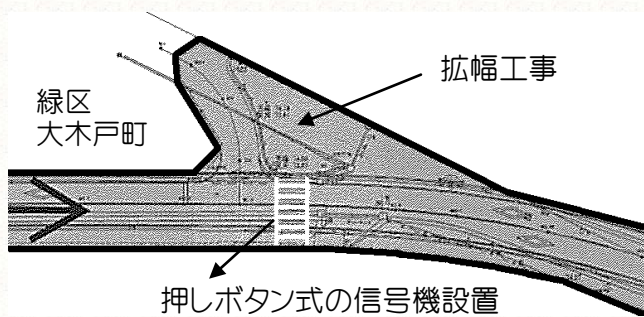
・モノレール沿線の高校からの要望を受け、4月からの通学定期の割引率を50%から60%に拡大し、1ヶ月定期代の実質値下げに取り組みます。

< 市政運営のための平成26年度予算決まる >

会計名	予算額	対前年度比
一般会計	3 7 5 3 億円	4.4%増
特別会計 (17 会計)	4 2 3 4 億 6 1 0 0 万円	8.8%増
合計	7 9 8 7 億 6 1 0 0 万円	6.7%増

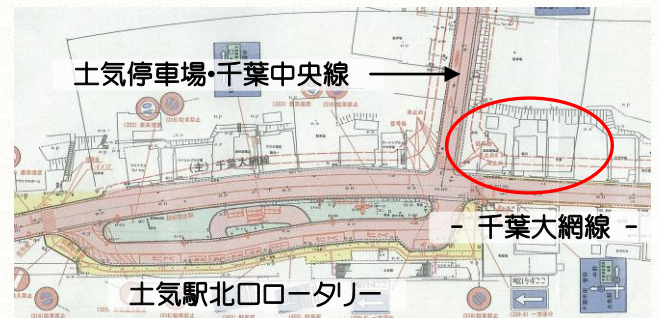
皆さんと約束した公約が！
地域の皆さんの要望が！**実現します！**

大木戸町4号線道路改良工事が完了しました！



土気駅北口整備が進みます

土気駅北口の交差点改良の為に
用地取得 600 m² 補償 6 件の
予算が計上されました！



★両市立病院で将来的な市立病院のあり方について、平成26年度中に新たな「両市立病院再整備基本構想」が策定されます。

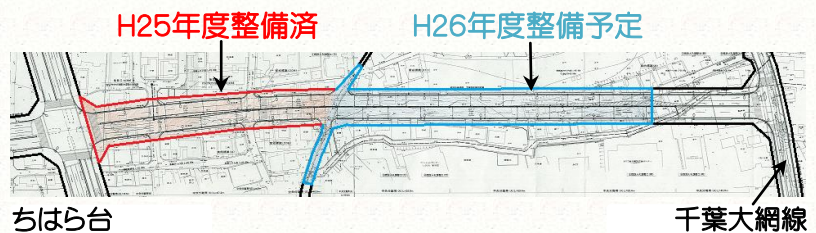
★子育て支援サービスの相談員である「子育て支援コンシェルジュ」が緑区にも配置され、市内6区全てに配置されます。

★家庭から排出される粗大ごみの収集が緑区でもはじまります。

★災害時に役立つ小学校へのマンホールトイレの設置が拡充します。

緑区内では、新たに2校（誉田小、土気南小）に設置され、区内で5校、市内で合計34小学校での整備がすすみます。

大膳野町誉田町線の整備も推進！



ちはら台と千葉大網線を接続し、利便性の向上が図られます。
道路整備工事、延長 200m の予算が計上されました。



<< 市政の相談 >>

市政に関するご意見・ご要望をお聞かせ下さい 近藤

TEL/ FAX 264-5956

http://www.komei.or.jp/giin/chibacity/kondo_chizuko/